

◆科目名： 統語論

◆曜限： 木曜 1 限(9:00–10:30)

◆担当者： 石井 透 (tishii@meiji.ac.jp)

◆授業内容

この授業では、英語・日本語を中心に、自然言語の文が単語の連鎖ではなく構造を持っていることを示す現象を理解して、文の構造を実証的に探り、語順の背後にある文を組み立てるメカニズムを考えることができるようになることを目標にします。まず始めに英語の統語現象について、Carnie (2002) *Syntax: A Generative Introduction (First Edition)* をテキストに用いて概観します。具体的には、構成素、構造上の関係、束縛理論、Xバー理論、DP移動移動、WH移動について、具体的な統語現象の分析と練習問題を通じて徐々に身に付けていく予定です。その後、『日本語文法ハンドブック』をテキストに用いて、日本語の統語現象、複文の構造と埋め込み補文の分類、文の構造と格関係、項省略について概観します。具体的な授業予定は以下の通りです：

1. (9.27) Organization Meeting, Fundamentals: Rules, Trees, and Parts of Speech
2. (10.4) Structural Relations
Read: Carnie Ch. 3, sections 0-4, (pp. 65-78)
3. (10.11) Binding Theory
Read: Carnie Ch. 4 (pp. 89-98)
4. (10.18) X-bar Theory
Read: Carnie Ch. 5, sections 0-3 (pp. 107-128)
5. (10.25) Extending X-bar Theory to Functional Categories
Read: Carnie Ch. 6 (pp. 143-158)
<宿題1締め切り>
6. (11.1) Constraining X-bar Theory: The Lexicon
Read: Carnie Ch. 7, sections 0-2 (pp. 165-173)
7. (11.8) DP Movement, Raising, Control, and Empty Categories
Read: Carnie Ch. 9, sections 0-5 (pp. 225-239), Ch. 10, sections 0-1 (pp. 255-264)
8. (11.15) Wh-movement
Read: Carnie Ch. 11, sections 0-2 (pp. 281-306)
9. (11.22) 複文構造と埋め込み補文の分類(1)
Read: 日本語文法ハンドブック, 第1章第1部 (pp. 2-19)
<宿題2締め切り>
10. (11.29) 複文構造と埋め込み補文の分類(2)
Read: 日本語文法ハンドブック, 第1章第1部 (pp. 19-33)
11. (12.6) 文の構造と格関係(1)
Read: 日本語文法ハンドブック, 第4章第1部1-3 節(pp. 102-115)
12. (12.13) 文の構造と格関係(2)
Read: 日本語文法ハンドブック, 第4章第1部 4.1-3, 5.1, 6 節(pp. 115-118, 122-124, 126-132)
13. (12/20) 項と省略(1)
Read: 日本語文法ハンドブック, 第7章第1部1節(pp. 228-236)

14. (1.10) 項と省略(2)

Read: 日本語文法ハンドブック, 第7章第1部2節(pp. 236-251)

15. (1/24) 試験およびまとめ

<宿題3締め切り>

◆教科書:

Andrew Carnie (2002) *Syntax: A Generative Introduction (First edition)*. Blackwell Publishers.

村杉恵子ほか(編)『日本語文法ハンドブック——言語理論と言語獲得の観点から』開拓社

◆ 学期末試験

クラスで扱った内容がその範囲となります。多岐選択式または短答式の知識・用語に関する問題と、言語分析問題(教科書の練習問題や宿題と同型式の問題)が出題されます。

◆出席

欠席届のある部活動・実習等による欠席を含めて、4回以上欠席した受講生には、単位を認定しません。なお病気等やむを得ない理由で長期にわたり欠席する際には、事前に相談して下さい。

◆遅刻: 15分以上の遅刻(9:15以降の入室)は欠席扱いとします。

◆成績評価:

平常点10%, 課題30%, 定期試験60%。平常点は授業への積極的な参加状況などを総合的に判断します。